



未来の先生展
2017



NPO 法人 日本ホームスクール支援協会

日本のホームスクール

～実施家庭の具体例と HOSA の支援活動～

2017 年 8 月 26 日 (土) 12 時 00 分～14 時 00 分

会場：1 号館 3F 305 教室

HOSA の理事 3 名によるパネルディスカッション形式の講演会です

世界では実践家庭は 300 万世帯以上と言われ、
日本でも増え続ける「ホームスクール」について、17 年以上の
支援実績がある HOSA がトークセッションを開催します。



登壇者

日野 公三

NPO 日本ホームスクール支援協会 理事長

アットマーク国際高校校長 明蓬館高等学校校長

1959 年生まれ。(株)リクルート、神奈川県第三セクター(株)ケイネット取締役を経て、2000 年 NPO 日本ホームスクール支援協会を創立、現在理事長をつとめる。

米国最大のホームスクール・ロビイスト団体、HSLDA() 米国ホームスクール法的擁護協会と提携した。

米国をはじめ多くの国では「不登校」という概念そのものがなく、ホームスクールやオルタナティブスクールが全日型学校に不応のある児童生徒の代替手段となっていることを知ったのが、ホームスクール支援を始めるきっかけになった。

中学までホームスクール経験者の高校選択肢になるようアットマーク国際高校、明蓬館高等学校も開校、校長に就任している。



登壇者

佐々木 貴広

NPO 日本ホームスクール支援協会 理事

ルミオハナ代表

1988 年生まれ。2 児の父。現在小 1 の長男とともにホームスクール(ハックスクール)を実践中。

高校からスイスの全寮制学校に留学。米国ハワイパシフィック大学にて英語教授法と声楽を専攻。学士過程を 2 年半で修了。全米で最も多国籍と言われる同大学での教育課程を通じ、世界の異なる教育思想にふれる。

2010 年に帰国し、同年 4 月「英検」で知られる日本英語検定協会に就職。英検 1 級～準 2 級までの問題制作、大学英語試験 4 技能化をはじめとする多くのプロジェクトに参画。

2015 年秋、「日本の教育のあたりまえを変えよう」をスローガンに「ルミオハナ」を立ち上げる。

また同時期に東急グループの民間学童保育「キッズベースキャンプ」にて国際教育ブランド「キッズベースキャンプインフィニティ」の企画開発担当に就任。小学生の放課後の生活、教育の最前線に携わる。

2016 年夏、ルミオハナよりオルタナティブ教育の重要性について発信を始める。自宅スペースを改修しハックスクールをコンセプトにした放課後の居場所「まなびスペース」を開校。現在数名の生徒と家庭的な雰囲気の中で日々の学習を進めている。

2017 年 4 月よりホームスクールについて発信を開始。



モデレーター

北本 貴子

NPO 日本ホームスクール支援協会 理事

ランキュラス株式会社

教育者と子供たちを 1 対 1 でマッチングするサイト「みらいの学校」を運営。その他に教育事業者と家庭を結ぶセールスプロモーション業務や、教育イベント関連の企画運営コンサルティングを行う傍ら、本年、NPO 法人日本ホームスクール支援協会の理事としての活動もスタート。実生活では 3 児の子育て中で長男と次女の小学生 2 人をホームスクールで育てている。